
宮崎県埋蔵文化財センター一年報



2023

序

本書は、宮崎県埋蔵文化財センターの概要と令和4年度に実施した諸事業についてまとめたものです。

当センターは、昭和57(1982)年10月、宮崎市神宮の地に宮崎県総合博物館埋蔵文化財センターとして発足して以来、国・県・西日本高速道路株式会社等の実施する各種開発事業に伴う発掘調査を実施するとともに、出土遺物の整理、保管を行ってきました。また、未指定の重要遺跡の分布調査をもとに、その保護に向けた取組も行っております。さらに、テーマ展示や出前展示、報告会等によって県民の皆様の郷土理解に役立てるなど、埋蔵文化財の保護と活用、教育普及活動に取り組んでいるところです。

令和4年度は、県道改良工事に伴う宮崎市の1遺跡ほか、都城市と五ヶ瀬町の合計3遺跡の発掘調査を実施するとともに、これまでに発掘調査が終了した4遺跡の資料について整理作業を実施し、『西南戦争関連遺跡総合調査成果報告書』を含む4冊の報告書を刊行しました。

教育普及事業については、移動展示会を門川町、日之影町、宮崎市の3か所で開催し、また、県内各地より出土した遺物を展示する出前展示を県内2か所で実施し、令和2年度から実施している西南戦争関連遺跡総合調査の成果展示や、宮崎県総合博物館の特別展「発掘された日本列島2022」とのコラボレーション企画としてエントランス展示も行いました。

残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大により、中止となった事業もありましたが、開催することができた展示や講座、施設公開では、多くの県民の皆様に当センターの活動を見ていただくことができたと考えております。

このような当センターの活動が郷土の歴史を理解する一助となれば幸いです。今後も職員が一丸となり業務に取り組んで参りますので、関係各位の御理解と御協力をお願いいたします。

令和5年6月

宮崎県埋蔵文化財センター
所長 吉本正典

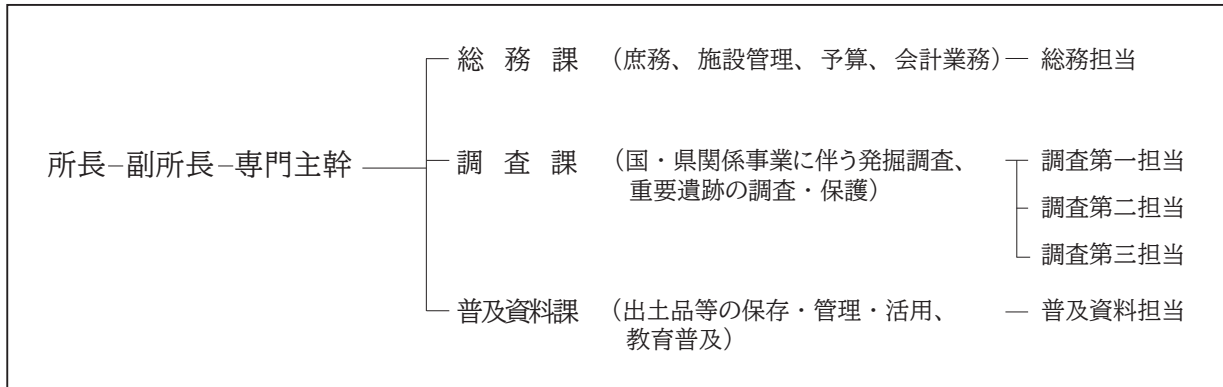
目 次

I	組織・施設	1
1	組織	1
2	施設	2
II	埋蔵文化財センターの沿革	3
III	令和4年度の活動状況	5
1	埋蔵文化財記録保存のための発掘調査	5
(1)	発掘調査	5
(2)	発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査	5
(3)	出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行	5
(4)	近代宮崎を知る・つなぐ～西南戦争関連遺跡総合調査～（文化庁補助事業）	6
(5)	保存処理	7
(6)	収蔵整理	7
2	教育普及活動	8
(1)	移動展示会「ふるさとの遺跡再発見」（文化庁補助事業）	8
(2)	埋文講座	9
(3)	埋文センター施設公開・体験講座	9
(4)	遺跡発掘成果展2022・埋文最新情報	9
(5)	分館テーマ展示	10
(6)	出前展示	10
(7)	出前講座	10
(8)	現地説明会・調査報告会等	11
(9)	見学・研修等で訪れた団体およびインターンシップ・職場体験の受け入れ	11
(10)	資料等の提供	12
(11)	職員派遣	15
(12)	埋蔵文化財担当専門職員研修会	16
(13)	広報出版物	16
(14)	研究紀要	16
(15)	ホームページ・SNS	16
3	会議・職員研修	17
(1)	各種会議等への参加	17
(2)	共同研究への参加	17
(3)	労働安全衛生関係の講習会等への参加	17
IV	宮崎県埋蔵文化財センター管理規則	18

I 組織・施設

1 組織

(令和5年4月1日現在)



所長	吉本 正典	○調査第二担当
副所長	東 憲章	(担当リーダー)
専門主幹	柚木崎 誠一朗	副主幹 甲斐 貴充
専門主幹	谷口 武範	(高速道対策局・併)
専門主幹	加塩 美昭	主査 石塚 啓祐
.....		(高速道対策局・併)
総務課		主査 守部 丘大
課長	寺原 尚徳	(高速道対策局・併)
○総務担当		主査 川嶋 信平
(担当リーダー)		主任主事 加藤 真理子
主幹	原田 佳奈子	主任主事 留野 優兵
主事	米良 ふたば	○調査第三担当
主事	河野 由芽	(担当リーダー)
(会計年度任用職員)		副主幹 堀田 孝博
業務支援員	永野 光希子	主査 谷口 至
.....		主査 上野 哲矢
調査課	
(兼)課長	東 憲章	普及資料課
○調査第一担当		課長 松田 清孝
(担当リーダー)		○普及資料担当
主幹	和田 理啓	(担当リーダー)
主査	藤木 聡	副主幹 平井 祥蔵
主査	江藤 建輔	主査 佐土瀬 英嗣
主査	小吹 雅史	主査 筒井 克彦
主査	小山 輝晃	(会計年度任用職員)
		埋蔵文化財整理専門員 貴嶋 活実
		埋蔵文化財整理作業員 松羅 紀子

2 施設

(1) 本館（宮崎市佐土原町下那珂 4019）

本館 2,656.50 m²

① 管理棟・調査研究棟（鉄筋コンクリート造一部木造平屋建） 1,745.99 m²

事務室	57.76 m ²
所長室	19.86 m ²
情報処理室	33.17 m ²
会議室	78.52 m ²
休憩室	78.52 m ²
調査研究室	248.55 m ²
復元整理室	293.44 m ²
一次処理室	96.81 m ²
図面整理室	61.62 m ²
写場	64.20 m ²
暗室	12.65 m ²
一次保管室（2層）	188.00 m ²
図書室（2層）	193.88 m ²
荷捌室	43.01 m ²
その他	276.00 m ²

② 整理作業棟（収蔵庫）（鉄骨造） 216.76 m²

③ 収蔵庫棟（鉄骨造） 693.75 m²

(2) 分館（宮崎市神宮 2 丁目 4-4）

分館（鉄筋コンクリート造 2 階建） 1,652.38 m²

1 階 877.58 m²

一次処理室	121.20 m ²
復元整理室	148.30 m ²
保存処理室	49.30 m ²
（鉄器	22.70 m ² ）
（木器	26.60 m ² ）

研修室	143.20 m ²
事務室	41.80 m ²
展示室	150.00 m ²
器材庫	11.00 m ²
エントランスホール他	212.78 m ²

2 階 774.80 m²

写場・暗室	49.30 m ²
写真保管室	35.10 m ²
図面保管室	53.10 m ²
収蔵整理室	19.30 m ²
収蔵室	564.00 m ²
特別収蔵室	54.00 m ²

Ⅱ 埋蔵文化財センターの沿革

西暦	年月日	事 項
1980	昭55	「埋蔵文化財調査センター建設計画」立案
1981	56	基本設計を実施
1982	57. 1. 9 7.29 10. 2	起工式 竣工 宮崎県総合博物館埋蔵文化財センターとして宮崎市神宮2丁目4-4に設置。 センター長吉田敏明（兼博物館副館長）以下本務職員2名（岩永哲夫、谷口武範）、兼務職員8名、嘱託2名発令。出土品等の整理保管と教育普及活動を行う。 開館記念講演「日本文化のふるさとをたずねて、東南アジアの旅から」 （講師：国立民族学博物館教授 佐々木高明）
1983	58. 4. 1	センター長細川達雄発令。本務職員を3名（茂山護、岩永哲夫、谷口武範）に増員する。
1984	59. 4. 1	（茂山護転出、菅付和樹転入）
1985	60. 11. 2	文化財保護強調週間の行事として施設公開を初めて行う。
1986	61. 4. 1 61. 7	センター長久徳菊雄発令。兼務職員7名になる。 毎月第4土曜日の映写会「遺跡をたずねて」を始める。
1987	62. 3 62. 4	埋蔵文化財調査研究報告第1集「陣内第2遺跡、蓮ヶ池横穴墓群 - 遺物編」刊行。 埋蔵文化財講座を始める。
1988	63. 3 63. 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第2集「下那珂貝塚」刊行 センター長長友友蔵発令。本務職員1名（菅付和樹）、兼務職員9名となる。
1989	平1. 4. 1	センター長石井祥博発令。本務職員1名（永友良典）、兼務職員11名となる。
1990	2. 3 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第3集「下北方古墳 - 遺物編」刊行。 兼務職員13名となる。
1991	3. 3 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第4集「下弓田遺跡 - 資料編1」刊行。 センター長木幡文夫発令。設備充実の一環として、軟X線撮影装置等を導入する。
1992	4. 4. 1	センター長藤崎景二発令。 埋蔵文化財センター開設10周年記念企画展「宮崎の埋文情報展'82～'91」を開催する。 脱塩装置、赤外線TVカメラシステム等を導入する。
1993	5. 4. 1 9.15	センター長後藤健志発令。本務職員1名（長津宗重）、兼務職員15名となる。 空調設備増設
1994	6. 3. 8	特別収蔵庫設置
1995	7. 1.29 2.16 4. 1	一般収蔵庫増設工事完成 屋根防水工事完了 センター長関屋清志発令。本務職員1名（長津宗重）、兼務職員24名となる。 県文化課埋蔵文化財第二係（調査部門）を埋蔵文化財センターに置く。
1996	8. 4. 1	宮崎県埋蔵文化財センターとして総合博物館から分離独立し、庶務係、調査第一係、第二係、教育普及係（第二係兼務）を置く。 所長藤本健一以下職員37名、嘱託1名発令。 鶴島分室（旧婦人相談所：宮崎市鶴島2丁目11-25）を設置し、調査第一係（東九州自動車道担当）を置く。
1997	9. 3.17 4. 1	分室を国富（旧国富農業改良普及センター：国富町大字本庄4777-2）に移転する。 職員37名、嘱託7名となる。
1998	10. 4. 1	所長田中守発令。職員39名、嘱託8名となる。
1999	11. 4. 1	職員42名、嘱託8名となる。
2000	12. 1.20 4. 1	佐土原町に新館が完成し、国富分室を統合廃止する。神宮の旧本館を分館とする。 所長矢野剛発令。課制となり、総務課、調査第一課、調査第二課、普及資料課を置く。 職員52名、非常勤職員12名となる。分館（研修室、事務室、図面保管室、写真保管室）改築工事完成
2001	13. 4. 1 7. 1	職員59名、非常勤16名となる。 調査第一課調査研究室設置
2002	14. 4. 1	所長米良弘康発令。職員63名、非常勤職員17名となる。

西暦	年月日	事 項
2003	15. 4. 1	職員 64 名、非常勤 15 名となる。
2004	16. 4. 1	所長宮園淳一発令。職員 62 名（うち任期付き職員 13 名）、非常勤職員 12 名となる。 収蔵庫用に旧繭検定工場を農政企画課から所管換え。
2005	17. 3. 8 4. 1 8.18 11. 6	収蔵第一期工事完成。 職員 61 名（うち任期付き職員 19 名）、非常勤職員 9 名となる。 収蔵第二期工事完成。 調査第一課整理棟の設置。（東畦原整理事業棟撤去に伴い貸借開始）
2006	18. 4. 1	所長清野勉発令。職員 64 名（うち任期付き職員 18 名）、非常勤職員 8 名となる。
2007	19. 4. 1	職員 64 名（うち任期付き職員 19 名）、非常勤職員 3 名となる。
2008	20. 4. 1	所長福永展幸発令。職員 61 名（うち任期付き職員 16 名）、非常勤職員 2 名となる。調査第一課整理棟撤去。
2009	21. 4. 1	職員 59 名（うち任期付き職員 18 名）、非常勤職員 1 名となる。
2010	22. 4. 1	所長森隆茂発令。職員 62 名（うち任期付き職員 18 名）、非常勤職員 1 名となる。
2011	23. 4. 1	職員 53 名（うち任期付き職員 15 名）、非常勤職員 1 名となる。
2012	24. 4. 1	所長北郷泰道発令。職員 42 名（うち任期付き職員 7 名）、非常勤職員 1 名となる。10 月より東日本大震災復興支援で宮城県へ松本茂を派遣。
2013	25. 4. 1 10.12 ~ 12. 8	所長向井大蔵発令。職員 31 名、非常勤職員 1 名となる。引き続き東日本大震災復興支援で、宮城県へ和田理啓を派遣。 特別展『みやぎき発掘 100 年 - いにしへの「道」と交流』開催
2014	26. 4. 1	所長岩切隆志発令。職員 28 名、非常勤職員 1 名となる。調査第一課と調査第二課を統合し、調査課を置く。東日本大震災復興支援で宮城県へ和田理啓を派遣（2 年目）。
2015	27. 4. 1	東日本大震災復興支援で宮城県へ和田理啓を派遣（3 年目）。本年度で派遣終了。 移動展示会「ふるさと発掘！埋文キャラバン」事業でアウトリーチ活動を展開。 旧調査第一課調査研究室撤去。
2016	28. 4. 1	所長谷口武範発令。10 月より非常勤職員 2 名となる。
2017	29. 4. 1	所長菅付和樹発令。職員 29 名、非常勤職員 3 名となる。平成 28 年熊本地震復興支援で加藤徹を熊本市に派遣。
2018	30. 4. 1	所長長峯勝志発令。職員 30 名、非常勤職員 3 名となる。平成 28 年熊本地震復興支援で沖野誠を熊本市に派遣。
2019	31. 4. 1	所長山元高光発令。職員 31 名、非常勤職員 1 名となる。平成 28 年熊本地震復興支援で沖野誠を熊本市に派遣（2 年目）。
2020	令 2. 4. 1	職員 31 名、会計年度任用職員 2 名となる。平成 28 年熊本地震復興支援で沖野誠を益城町に派遣。
2021	3. 4. 1	所長菊村祐司発令。職員 31 名、会計年度任用職員 2 名となる。
2022	4. 4. 1	職員 30 名、会計年度任用職員 3 名となる
2023	5. 2. 1 4. 1	所長吉本正典発令。 職員 27 名、会計年度任用職員 3 名となる。

Ⅲ 令和 4 年度の活動状況

埋蔵文化財センターは次に掲げる業務を行っている。

- 1 埋蔵文化財の調査研究
- 2 出土品その他の資料の保存及び活用
- 3 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備
- 4 埋蔵文化財関係者の専門的・技術的な研修及び指導
- 5 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発

令和 4 年度は以下に記載する事業を実施した。

1 埋蔵文化財記録保存のための発掘調査

(1) 発掘調査

国・県事業に伴う試掘・確認調査及び発掘調査を実施している。本年度は陣ノ元遺跡(宮崎市)、都城(鶴丸城)跡(都城市)、樋口遺跡(五ヶ瀬町)の3か所で本調査を実施した。

【発掘調査一覧】

遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
1 陣ノ元遺跡	宮崎市 大字熊野	縄文時代 近世・近代	土坑、掘立柱建物跡、平地式建物跡、溝状遺構、道路状遺構	縄文土器 陶磁器	R4.5.16 ～ R4.8.10 (実調査日数48日)	1,000㎡	江藤建輔 石塚啓祐 藤木 聡	一般県道学園木花台本郷北方線(山下工区)道路改良工事
2 都城(鶴丸城)跡	都城市 都島町	中世・近世		陶磁器	R5.1.23 ～ R5.2.8 (実調査日数9日)	105㎡	小吹雅史 山田洋一郎 小山輝晃	城山西側地区急傾斜地崩壊対策工事
3 樋口遺跡	五ヶ瀬町 大字三ヶ所	縄文時代 弥生時代 古墳時代 中世・近世	土坑、掘立柱建物跡、竪穴建物跡	弥生土器 土師器	R4.7.26 ～ R4.11.30 (実調査日数73日)	2,500㎡	留野優兵 守部丘大 川嶋信平	国道218号五ヶ瀬高千穂道路整備事業

(2) 発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査

慎重な比較検討を要する遺跡の調査を実施するにあたって、調査方法等の指導を受けるため各分野の研究者を招聘している。また、職員を派遣し、位置づけの明確でない遺構や遺物について調査を行うものである。

【調査指導】

日程	場所(遺跡)	所属・氏名	指導内容
R5.1.24,25	和田越台場群ほか	九州国立博物館 展示課 主任研究員 岡寺良氏	遺構の認定基準、時期推定について

【資料調査】

日程	出張先	出張者	目的
令和4年度は実施せず	—	—	—

(3) 出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行

埋蔵文化財センターでは、発掘調査で出土した遺物等の水洗、注記から実測、製図までの整理を行い、発掘調査報告書を作成している。本年度整理を実施した遺跡は4遺跡で、内訳は歩道整備事業1遺跡、県道改良事業1遺跡、県有スポーツ施設整備事業1遺跡、砂防事業1遺跡である。なお、本年度は整理作業の終了した3遺跡の発掘調査報告書を刊行した。

【 出土遺物等整理対象遺跡一覧 】

遺跡名	事業名	事業者
上平遺跡	県有スポーツ施設整備事業（陸上競技場）建設工事	総合政策部国スポ・障スポ準備課
陣ノ元遺跡	一般県道学園木花台本郷北方線（山下工区）道路改良工事	県土整備部宮崎土木事務所
羽子場遺跡	中田谷川1 通常砂防工事	県土整備部日向土木事務所
湯之宮遺跡	県道川床日向新富停車場線（湯之宮工区）道路改良工事	県土整備部高鍋土木事務所

【 発掘調査報告書刊行一覧 】

No.	報告書名	副書名	執筆・編集者
263	湯之宮遺跡	県道川床日向新富停車場線（湯之宮工区）道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	伊東 浩二
264	羽子場遺跡	中田谷川1 通常砂防工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	伊東 浩二
265	上平遺跡	県有スポーツ施設整備事業（陸上競技場）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	吉行 真人

(4) 近代宮崎を知る・つなぐ～西南戦争関連遺跡総合調査～（文化庁補助事業）

令和2年度から3か年事業で本県の西南戦争（明治10年、1877年）関連遺跡の所在地や現況の把握と、今後の保存・活用を進めていくうえで必要な情報の収集を目的として、台場等の基礎的調査（文献調査や悉皆調査等）や重要な遺跡を対象とした測量調査を実施している。

また、調査成果については、県民の理解を深めるため、遺跡の所在する市町村での展示会を計画する等、教育普及活動も行っている。令和4年度は宮崎県総合博物館が開催した特別展「発掘された日本列島2022」のコラボレーション企画として、エントランス展示「山河に刻まれた西南戦争の記憶」（宮崎県総合博物館 9月28日～12月11日）を行ったほか、小林市教育委員会との共催による成果展示会「西南戦争と七熊山～145年の時を超えて～」（小林市役所・小林市役所須木庁舎 10月17日～11月11日）も開催した。

① 西南戦争関連遺跡の悉皆調査

令和4年度は、台場53基、墓・慰霊碑等31基、その他（建物等）23箇所の悉皆調査を行った。

【 悉皆調査一覧（台場） 】

市町村名	名称	基数	調査担当者
日之影町	阿下台場群、大楠台場群	8	堀田孝博 谷口 至 上野哲矢
延岡市	和田越台場群、檉山台場群	21	
西米良村	一里山台場群	14	
宮崎市	大久保台場	1	
小林市	九瀬台場、太尾台場	2	
えびの市	加久藤越台場群、百貫山台場群、溝園城跡台場	7	

【 悉皆調査一覧（墓・慰霊碑等） 】

市町村名	名称	基数	調査担当者
日之影町	富士本長吉墓、新見宗吉墓	2	堀田孝博 谷口 至 上野哲矢
延岡市	西南之役陸地峠戦闘跡	1	
高鍋町	丁丑戦亡記念碑	1	
西都市	招魂之碑	1	
宮崎市	戦没招魂塚、西郷隆盛翁駐在之跡、樹網鶴の墓石、太々御神楽標石、丁丑之乱戦死塚、招魂墓、顕彰碑、丁丑戦亡招魂塚、招魂碑	9	
国富町	法難三法師の墓	3	
綾町	丁丑役戦亡招魂塚	1	
小林市	招魂社、供養碑、奉招神魂牌、招魂塚、官軍兵卒本田半左衛門之碑、招魂塚、戦死追弔碑、西郷隆盛宿営之地	8	
えびの市	飯野郷招魂碑、松形祐高墓碑、薩軍兵士無縁墓、馬関田郷招魂碑	5	

【 悉皆調査一覧（その他） 】

市町村名	名 称	箇所数	調査担当者
延岡市	西南戦争激戦の地、西南戦争陸地峠水汲場、薩軍松瀬包帯所跡、西郷隆盛宿陣跡、奇兵隊本営跡、西郷隆盛宿陣の跡、小倉處平加療の地、南洲翁寓居跡、西郷菊次郎加療の地、桐野利秋宿営の地、西郷隆盛宿陣の跡、西郷隆盛宿陣址、山田顕義少将宿営の地	13	堀田孝博 谷口 至 上野哲矢
高鍋町	籾倉	1	
宮崎市	旧福島邦成邸前瓦舗装路、谷村計介旧宅	2	
小林市	小林本営跡地、西郷軍銃器製造所跡、西郷隆盛宿陣之地、別働第二旅団本営跡	4	
えびの市	弾薬製造所、飯野のイチョウ、荒神堂タブ大樹	3	

② 西南戦争関連遺跡の測量調査

令和 4 年度は、以下の台場等の測量調査を実施した。

【 測量調査一覧 】

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	調査期間	調査面積	調査担当者
1	阿下台場群 2号	日之影町七折	近代	-	R4.11.22 (実調査日数 1日)	-	堀田孝博 谷口 至
2	大楠台場群 2・3号	日之影町岩井川	近代	-	R4.12.8 ～ R5.2.21 (実調査日数 12日)	-	上野哲矢

【 成果図書 】

No.	報告書名	執筆・編集者
266	西南戦争関連遺跡総合調査成果報告書	堀田 孝博

(5) 保存処理

普及資料課及び調査課では、出土した金属製品や木製品について保存処理を行っている。本年度は 14 遺跡の鉄器 263 点の処理を行った。

鉄器保存処理実施の遺跡

遺跡名	主な器種	保存処理
笠部峠台場、鏡山台場群、小坂峠台場群、大楠台場群、阿下台場群、和田越台場群、佐土河内山、桐ノ陣台場群、城ヶ尾、天包山台場群、一里山台場群、横谷台場群、勝負台場群、七熊山台場群	薬莖、銃弾、銭貨等	土落とし 仮接合まで実施

(6) 収蔵整理

① 収蔵庫（分館）

分館収蔵庫には、登録を完了した遺物や登録作業途中・待機中の遺物を収蔵している。令和 4 年度は、登録を完了した遺物と登録待機中の遺物を併せたコンテナ総数は 7,259 箱となった。

② 収蔵庫（本館）

新収蔵庫には、主に本館で整理作業の終了した遺物や登録待機遺物を収蔵している。令和 4 年度は、コンテナ 97 箱を搬入した。また、東九州自動車道関連の調査で出土した礫の整理を行い 868 箱の圧縮となった。よって、本館の収蔵量はコンテナ 14,906 箱となった。

③ 登録作業

分館における令和 4 年度の実績は 3 遺跡、コンテナ 104 箱である。登録累計 295 遺跡、登録済みコンテナ 6,655 箱となった。本館における同年度の実績は 3 遺跡、コンテナ 97 箱であり、登録累計 115 遺跡、コンテナ 3,956 箱となった。よって、令和 4 年度の本館と分館を合わせた登録収蔵総累計は、410 遺跡、コンテナ 10,611 箱である。

④ 図書資料

全国から送られてくる発掘調査等の報告書や購入書籍・雑誌類を図書室に集架している。令和 4 年度は 1,387 冊の受け入れがあり、合計収蔵数は 86,270 冊になる。図書管理システムによる図書資料の登録と、バーコードによる貸出・返却管理を行っている。

2 教育普及活動

令和4年度の教育普及事業は、移動展示会「ふるさとの遺跡再発見」（文化庁補助事業）、埋文講座（年5回）、遺跡発掘成果展2022「再発見!1990年代調査の遺跡」、施設公開、分館展示のほか、出前講座等のアウトリーチ活動を実施した。令和4年度分館入館者は5,157名であった。

(1) 移動展示会「ふるさとの遺跡再発見」（文化庁補助事業）

埋蔵文化財センターの業務紹介と時代ごとの解説や遺物の展示、体験講座やふるさとの遺跡学習会の実施、「宮崎県の遺跡ガイドブック-県北編-」、各会場ごとのリーフレットの作成・配布など、埋蔵文化財の保護を啓発するため県内の3会場で開催した。

① 名称：移動展示会『ふるさとの遺跡再発見』

② 主催：宮崎県埋蔵文化財センター

③ 共催：門川町、門川町教育委員会、日之影町、日之影町教育委員会、宮崎市立図書館

④ 会場・会期

・門川会場

会場：門川町役場町民ギャラリー

会期：令和4年7月30日（土）～8月28日（日）（展示日数30日間）

・日之影会場

会場：日之影町役場町民ホール

会期：令和4年10月25日（火）～11月13日（日）（展示日数20日間）

・宮崎会場

会場：宮崎市立図書館2階展示コーナー

会期：令和5年1月18日（水）～1月30日（月）（展示日数12日間）

⑤ 関連行事

○ 体験講座

各会場にて体験講座（石器レプリカ製作、土器文様拓本体験、土器パズル）、講演、展示資料解説等を行った。

・門川会場 令和4年8月7日（日）①10:00～12:00、②13:00～15:00

・日之影会場 令和4年10月30日（日）①10:00～12:00、②13:00～15:00

・宮崎会場 令和5年1月22日（日）①10:00～12:00、②13:00～15:00

○ ふるさとの遺跡学習会

① 令和4年6月16日（木）門川町立草川小学校6年

学校体育館にて門川町内の遺跡について学習した。さらに発掘現場とオンラインで結び、現場担当者がその様子を紹介し、質問に答えた。

② 令和4年10月28日（金）日之影町内小学生

展示会場にて町内の遺跡を紹介した。また、展示遺物の解説をし、質問に答えた。

⑥ 観覧者数

3会場合計 展示日数 62日

総観覧者数:19,483名（体験講座総参加者数を含む）

体験講座総参加者数:94名 ふるさとの遺跡学習会総参加者:164名

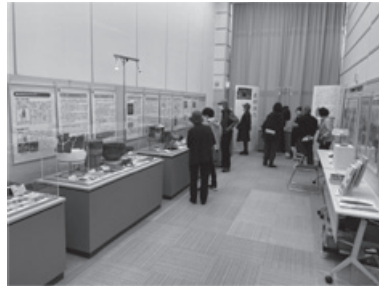
・門川会場 展示期間 30日間 観覧者数:10,287名、体験講座参加者:20名
ふるさとの遺跡学習会参加者:57名

・日之影会場 展示期間 20日間 観覧者数:3,473名、体験講座参加者:35名
ふるさとの遺跡学習会参加者:107名

・宮崎会場 展示期間 12日間 観覧者数:5,629名、体験講座参加者:39名



展示会場（門川会場）



展示会場（日之影会場）



体験講座（宮崎会場）

(2) 埋文講座

近年発掘調査報告書を刊行した遺跡の最終成果報告講座、また本県の歴史を考える上で重要な遺跡、当センターの事業報告の場として、年5回（5・7・11・1・2月の第3日曜日）、午後1時30分から午後3時まで分館研修室で講演会を計画し、関連する遺物を展示して解説を行った。また、参加者を増やす取り組みとして早期の広報活動や初心者にもわかりやすい資料の作成等に取り組み、合計で146名の参加者があった。

開催日	講演名	講師	参加者
第1回 R4.5.15	「都城へようこそ ～都城盆地入り口の古墳時代集落～ 花木池平遺跡（都城市）」	宮崎県埋蔵文化財センター 和田理啓	29名
第2回 R4.7.17	「一ツ瀬川を望む中世山城と周辺の暮らし」 山城城跡・串木遺跡（西都市）」	宮崎県立西都原考古博物館 橋本英俊氏	20名
第3回 R4.11.20	「山河に刻まれた西南戦争の記憶」 西南戦争関連遺跡総合調査事業	宮崎県埋蔵文化財センター 堀田孝博	28名
第4回 R5.1.15	「時代の目安！宮崎の火山灰層とその見分け方」	宮崎県埋蔵文化財センター 松田清孝	22名
第5回 R5.2.19	「古（いにしえ）の時を求めて」 羽子場遺跡（美郷町）・湯之宮遺跡（新富町）」	宮崎県埋蔵文化財センター 伊東浩二	47名

(3) 埋文センター施設公開・体験講座

例年、埋蔵文化財センターの事業のPRと埋蔵文化財保護啓発の目的で「施設公開」を開催している。本年度は、文化財保護強調週間中の11月6日（日）に「埋文センターで考古学体験」と題して分館において開催した。

【施設公開「埋文センターで考古学体験」】

開催日	開催場所	内容	参加者
R4.11.6	埋蔵文化財センター分館 総合博物館	土器復元体験、土器拓本体験、発掘疑似体験、 石器レプリカ製作、ドングリつぶし体験、土器パズル、石斧体験等	702名



発掘疑似体験



石斧体験



石器レプリカ製作

(4) 遺跡発掘成果展 2022・埋文最新情報

埋蔵文化財センターが1990年代に発掘調査した遺跡の資料を展示する遺跡発掘成果展 2022「再発見！1990年代調査の遺跡～県南・県西編～」を県立図書館2階特別展示室で開催した。成果展関連講座（ギャラリートーク）および埋文最新情報を実施した。

【遺跡発掘成果展 2022・関連講座】

開催期間	開催場所	展示遺跡・講座名	来場者
R4.8.19 ～ R4.9.4	県立図書館 2階 特別展示室	坂ノ上遺跡、妙見遺跡、大谷遺跡、荒迫遺跡、本城原遺跡、王子原遺跡、中尾遺跡、蓑原遺跡、虎崩・榎木田遺跡、山ノ田第1遺跡、鳩園遺跡、下大五郎遺跡、大岩田上村遺跡、畑田遺跡、樺山・郡元地区遺跡（15遺跡）	811名
R4.8.21	県立図書館 2階 特別展示室	ギャラリートーク：再発見！1990年代調査の遺跡 展示解説	12名
R4.8.28	県立図書館 2階 特別展示室	ギャラリートーク：再発見！1990年代調査の遺跡 展示解説	29名

【埋文最新情報】

開催日	開催場所	報告遺跡	参加者
R4.8.28	県立図書館 2階 視聴覚室	上平遺跡、陣ノ元遺跡、羽子場遺跡	28名

(5) 分館テーマ展示

分館の展示室において、埋蔵文化財センターがこれまでに発掘調査を行った遺跡について、遺跡ごとに出土遺物を紹介するテーマ展示を年4回行った。埋文講座や遺跡発掘成果展等の事業との連携を図って構成した。

(6) 出前展示

発掘調査で県内各地から出土した遺物等を各地域で展示し、発掘の成果を公開している。合わせて埋蔵文化財センターの業務内容についての紹介も行っている。令和4年度は、総合博物館の特別展の関連展示、西南戦争関連遺跡総合調査の成果展示等があった。

開催期間	名称	場所	内容	観覧者
1 R4.9.28 ～ R4.12.11	特別展「発掘された日本列島 2022」 関連展示 「山河に刻まれた西南戦争の記憶」	総合博物館	遺構・遺物の説明・見学	4,612名
2 R4.10.17 ～ R4.10.28	西南戦争関連遺跡総合調査成果展示会 「西南戦争と七熊山～145年の時を超えて～」	小林市役所	遺構・遺物の説明・見学	540名
3 R4.10.31 ～ R4.11.11	西南戦争関連遺跡総合調査成果展示会 「西南戦争と七熊山～145年の時を超えて～」	小林市役所 須木支所	遺構・遺物の説明・見学	80名
4 R4.10.30	埋蔵文化財センター事業紹介 「埋蔵文化財センターってなあに？」	イオンモール 宮崎	埋蔵文化財センターの紹介、体験講座	272名
5 R5.2.25 ～ R5.2.26	広瀬西小校区芸能文化祭	佐土原総合 文化センター	埋蔵文化財センターの紹介、遺構・遺物の説明・見学	809名

(7) 出前講座

生涯学習団体や学校等からの依頼に応じて、埋蔵文化財センター職員が県内各地に出向いて行う出張講座を実施している。それぞれの地域の遺跡や遺物の展示・解説、遺物に触れる体験、埋蔵文化財センターの業務紹介等を行った。令和4年度は、18件の依頼があったが、コロナウィルス感染拡大により2件がキャンセルとなり、16件の講座を実施した。

開催日	学校名・機関名	対象	内容	参加者
1 R4.6.10	西都市立茶臼原小学校 6年	小学生	埋蔵文化財センターの紹介、遺構・遺物の説明・見学	14名
2 R4.6.17	宮崎市立加納中学校 1年	中学生	埋蔵文化財センターの紹介、遺構・遺物の説明・見学	53名
3 R4.6.30	川南町立通山小学校 6年	小学生	埋蔵文化財センターの紹介、遺構・遺物の説明・見学	33名
4 R4.7.1	小林市立東方小学校 6年	小学生	埋蔵文化財センターの紹介、遺構・遺物の説明・見学	30名
5 R4.7.8	都農町立都農東小学校 6年	小学生	埋蔵文化財センターの紹介、遺構・遺物の説明・見学	17名
6 R4.7.13	日之影町立日之影中学校 1年	中学生	埋蔵文化財センターの紹介、遺構・遺物の説明・見学	26名

7	R4.7.16	宮崎大学教育学部附属小学校 6 年	小学生 保護者	埋蔵文化財センターの紹介、体験講座	160 名
8	R4.9.15	久峰シニアスクール	一般	埋蔵文化財センターの紹介、遺物の 見学、体験講座	22 名
9	R4.9.30	西都市立穂北中学校 2 年	中学生	埋蔵文化財センターの紹介、講話（台 地の成り立ちと火山灰）	38 名
10	R4.10.20	小林中央公民館 生涯学習講座	一般	遺構・遺物の説明・見学（西南戦争 関連遺跡総合調査）	30 名
11	R4.11.12	宮崎市立大宮小学校 PTA	小学生 保護者	埋蔵文化財センターの紹介、遺構・ 遺物の説明・見学、体験講座	552 名
12	R4.11.16	宮崎市立北中学校区合同研修会	教職員	埋蔵文化財センターの紹介、遺構・ 遺物の説明・見学	41 名
13	R4.11.28	県立五ヶ瀬中等教育学校	中高生	埋蔵文化財センターの紹介、遺物の見学	225 名
14	R4.12.3	広瀬西小校区地域づくり協議会	一般	埋蔵文化財センターの紹介、遺構・ 遺物の説明・見学	19 名
15	R4.12.22	宮崎市立瓜生野小学校 6 年	小学生	埋蔵文化財センターの紹介、講話（宮崎 の地形、段丘の発達と遺跡の分布）	37 名
16	R5.2.26	広瀬西小校区芸能文化祭り	小学生 一般	体験講座	46 名
合計					1,343 名

(8) 現地説明会・調査報告会等

発掘調査中の現場を県民の方に見学していただく遺跡の現地説明会や、発掘調査が終了した遺跡について、その成果を紹介するための報告会等を開催している。

【現地説明会】

開催日	遺跡名	開催地	内容・対象		参加者
1 R4.10.4	樋口遺跡	五ヶ瀬町	遺跡の概要、遺構・遺物の説明	五ヶ瀬町立五ヶ瀬中学校 2 年	19 名
2 R4.10.5	樋口遺跡	五ヶ瀬町	遺跡の概要、遺構・遺物の説明	県立五ヶ瀬中等教育学校 1～5 学年	183 名
3 R4.11.23	樋口遺跡	五ヶ瀬町	遺跡の概要、遺構・遺物の説明	一般	45 名
合計					247 名

【調査報告会】

開催日	遺跡名	開催地	内容	参加者
令和 4 年度は実施せず	—	—	—	—

【発掘体験】

開催日	遺跡名	開催地	対象	参加者
1 R4.10.4	樋口遺跡	五ヶ瀬町	五ヶ瀬町立五ヶ瀬中学校 2 年	19 名
2 R4.10.5	樋口遺跡	五ヶ瀬町	県立五ヶ瀬中等教育学校 1～5 学年	183 名
合計				202 名

(9) 見学・研修等で訪れた団体およびインターンシップ・職場体験の受け入れ

実施日	場所	団体名	内容	人数
1 R4.4.23	埋蔵文化財センター分館	宮崎地質研究会	研修	7 名
2 R4.5.11	埋蔵文化財センター分館	小林市立小林小学校 6 年	展示見学	106 名
3 R4.5.20	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立宮崎西小学校 4 年	展示見学	50 名
4 R4.5.28	埋蔵文化財センター分館	宮崎民俗学会	研修	13 名
5 R4.6.4	埋蔵文化財センター分館	宮崎地質研究会	研修	7 名
6 R4.6.8	埋蔵文化財センター分館	延岡市史編さん委員会	研修	5 名
7 R4.7.3	埋蔵文化財センター分館	宮崎地質研究会	研修	7 名
8 R4.7.30	埋蔵文化財センター分館	まーぶるクラブ	展示見学	17 名
9 R4.8.9	埋蔵文化財センター分館	放課後等デイサービス アレグリア	展示見学	12 名
10 R4.8.20	埋蔵文化財センター分館	総合博物館 博物館実習	展示見学・研修	8 名
11 R4.8.20	埋蔵文化財センター分館	NPO 法人 ふうせん	展示見学	38 名
12 R4.11.1	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立木花小学校 3 年	展示見学	53 名
13 R4.11.2	埋蔵文化財センター分館	延岡市立恒富小学校 4 年	展示見学	27 名

14	R4.11.4	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立生目台西小学校 4 年	展示見学	32 名
15	R4.11.4	埋蔵文化財センター分館	都城市立高崎小学校 4 年	展示見学	42 名
16	R4.11.7	埋蔵文化財センター分館	串間市立福島小学校 6 年	展示見学	45 名
17	R4.11.10	埋蔵文化財センター分館	韓国国立羅州博物館	展示見学・視察	5 名
18	R4.11.10	埋蔵文化財センター分館	国富町立木脇中学校家庭教育学級	展示見学・研修	5 名
19	R4.11.16	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立高岡小学校 3 年	展示見学	79 名
20	R4.11.18	埋蔵文化財センター分館	小林市立紙屋小学校 3・4 年	展示見学	20 名
21	R4.11.24	埋蔵文化財センター分館	日南市立油津小学校 6 年	展示見学	41 名
22	R4.12.3	埋蔵文化財センター分館	宮崎地質研究会	研修	6 名
23	R4.12.11	埋蔵文化財センター分館	宮崎大学学芸員課程	展示見学・研修	23 名
24	R4.12.15	埋蔵文化財センター分館	埋蔵文化財担当専門職員研修会	研修	24 名
25	R4.12.16	埋蔵文化財センター分館	埋蔵文化財担当専門職員研修会	研修	17 名
26	R5.1.28	埋蔵文化財センター分館	宮崎地質研究会	研修	6 名
27	R5.2.5	埋蔵文化財センター分館	宮崎民俗学会	研修	4 名
28	R5.2.18	埋蔵文化財センター分館	宮崎地質研究会	研修	5 名
29	R5.3.17	埋蔵文化財センター分館	国際交流サービスツアー	展示見学	28 名
					合計 732 名

(10) 資料等の提供

埋蔵文化財センターでは、一般や公共機関、研究機関、研究者の利用希望に応じて、可能な限り資料を提供している。資料提供には資料調査等に係る館内利用（資料の閲覧・実測等）や館外貸出及び掲載許可申請があり、令和 4 年度は館内利用 19 件、館外貸出 16 件、掲載許可 16 件であった。

【館内利用】

	遺跡名・利用資料名	利用目的	利用日
1	穂北城跡 [陶磁器]	資料調査	R4.4. 16
2	西ノ別府遺跡、尾花 A 遺跡 [土器]	資料調査	R4.7.9 ~ 11
3	西南戦争関連遺跡 [銃弾]	資料調査	R4.7.14
4	天神河内第 1 遺跡 [石器]、跡江貝塚 [貝類・獣骨]	資料調査	R4.7.15
5	山口遺跡第 2 地点 [土器]	資料調査	R4.7.15
6	堂地東遺跡、西下本庄遺跡、右葛ヶ迫遺跡、上の原第 1 遺跡、枯木ヶ迫遺跡、山崎上ノ原第 2 遺跡、山崎上ノ原第 1 遺跡、野首第 1 遺跡、西ノ別符遺跡、山崎上ノ原第 2 遺跡Ⅱ、永牟田遺跡、野首第 2 遺跡、宮ノ東遺跡、尾花 A 遺跡、塩見城跡、平峰遺跡 (1 次・2 次調査)、木戸平第 2 遺跡、平峰遺跡 (3 次調査)、花木池平遺跡 [土器]、宮ノ東遺跡、平峰遺跡 (3 次調査) [炭化種子・獣骨]	資料調査	R4.7.22
7	県内出土資料 [旧石器・縄文時代の礫]	資料調査	R4.10.12
8	大郎遺跡、野首第 1 遺跡、駄小屋遺跡 [異形石器]	資料調査	R4.10.13,14
9	音明寺第 2 遺跡、野首第 2 遺跡、前ノ田村上第 2 遺跡、南学原第 1 遺跡、南学原第 2 遺跡、牧内第 1 遺跡、尾花 A 遺跡、小並第 1 遺跡、俵石第 1 遺跡、俵石第 1 遺跡 (2 次調査)、尾立第 2 遺跡、唐木戸第 3 遺跡、上ノ迫遺跡 [石器]	資料調査	R4.10.1 ~ R4.10.4
10	白ヶ野第 2・第 3 遺跡、下星野遺跡、上の原第 1 遺跡 B 地区、浦田遺跡、堂地西遺跡、田上遺跡、天神河内第 1 遺跡 [石器]	資料調査	R4.10.12,13
11	前原北遺跡、堂地東遺跡	資料調査	R4. 10.30,31
12	前原北遺跡、堂地東遺跡、熊野原遺跡 A 地区、熊野原遺跡 C 地区、下那珂遺跡、南平第 3 遺跡、神殿遺跡、塚原遺跡、市位遺跡、野門遺跡、五ヶ村遺跡 [土器・石器]	資料調査	R4. 11.19, 12.2
13	諸麦遺跡、下大五郎遺跡、湯牟田遺跡、板平遺跡、平底第 2 遺跡、南平第 3 遺跡、市位遺跡、働女木遺跡、町屋敷遺跡、前原北遺跡、赤坂遺跡 [土器・石器]	資料調査	R4. 12.6,7
14	青木遺跡、野首第 1 遺跡、野首第 2 遺跡、山崎上ノ原第 2 遺跡 [土師器・須恵器]	資料調査	R4.12.22,22
15	堂地東遺跡、尾花 A 遺跡、働女木遺跡 [土師器]	資料調査	R5.1.20
16	塚原遺跡 [土器]	資料調査	R5.2.22

17	右葛ヶ迫遺跡、柿迫遺跡 [土器]	資料調査	R5.2.27,28
18	早日渡遺跡 [土器]	資料調査	R5.3.20
19	余り田遺跡 [木製品]、右葛ヶ迫遺跡、平田迫遺跡、野首第1遺跡Ⅱ、陣ノ内遺跡 [土師器・石製品]、竹淵C遺跡、老瀬坂上第3遺跡、下耳切第3遺跡、筆無遺跡 [須恵器・石製品]、宮ノ東遺跡、前原南遺跡 [土師器・須恵器・陶器]、笹ヶ崎遺跡 (3次調査) [石製品]	資料調査	R5.3.22

【館外貸出】

	貸出資料名	数量	目的	期間	貸出機関名
1	野添遺跡 [ササゲ属種子炭化物・クリ種子炭化物]	30	文化交流展示「海の道、アジアの路」(平常展)に展示	R4.4.1 ～ R5.3.31	九州国立博物館
2	学習キット [弥生]	43	大学の講義で使用	R4.4.11 ～ R4.4.12	南九州大学
3	学習キット [旧石器]	75	大学の講義で使用	R4.4.25 ～ R4.4.26	南九州大学
4	上牧第2遺跡・竹ノ内遺跡 [土器類]、野添遺跡 [炭化種子]、大窪第1遺跡・保木島遺跡 [石器]	23	令和4年度都城歴史資料館企画展「縄文にドッキリ!食とくらしと縄文人」に展示	R4.5.10 ～ R4.9.14	都城市教育委員会
5	学習キット [縄文]	100	大学の講義で使用	R4.5.16 ～ R4.5.17	南九州大学
6	学習キット [弥生]	43	大学の講義で使用	R4.6.6 ～ R4.6.7	南九州大学
7	入料遺跡・西南戦争関連遺跡 [鉄器]、矢野原遺跡・阿蘇原上遺跡・北牛牧第5遺跡・野首第2遺跡・前ノ田村上第2遺跡・尾立第2遺跡・塩見城跡・向原中尾第4遺跡 [石器]	147	令和4年度特別展「飛び道具の技術文化史～旧石器時代から西南戦争まで～」に展示	R4.6.24 ～ R4.9.22	西都原考古博物館
8	学習キット [古墳]	21	大学の講義で使用	R4.6.27 ～ R4.6.28	南九州大学
9	大浦遺跡 [白磁、土師器]、上高遺跡 [縄文土器]、百塚原古墳群 [土師器、須恵器、玉類]、小迫遺跡 [縄文土器、土製品、石器]、保木島遺跡 [縄文土器、石器]、西南戦争関連遺跡 [銃弾]	52	県総合博物館特別展「発掘された日本列島 2022」出展	R4.9.21 ～ R5.1.29	県総合博物館
10	塩見城跡 [陶磁器]、八幡遺跡 [陶磁器]	3	令和4年度都城島津伝承館特別展『都城喫茶ことはじめ』展示	R4.10.1 ～ R4.12.10	都城島津邸
11	堂地東遺跡 [土師器]、西下本庄遺跡 [土師器]、右葛ヶ迫遺跡 [土師器]、枯木ヶ迫遺跡 [土師器]、山崎上ノ原第2遺跡 [石器、土師器]、西ノ別府遺跡 [土師器]、山崎上ノ原第2遺跡Ⅱ [石器、土師器、須恵器、土製品]、永牟田遺跡 [土製品]、野首第2遺跡 [土師器]、宮ノ東遺跡 [石器、須恵器、獣骨]、尾花A遺跡 [土師器]、平峰遺跡 (1・2次調査) [土師器]、木戸平第2遺跡 [弥生土器]、平峰遺跡 (3次調査) [土師器・陶質土器、石器、炭化種子]、山崎上ノ原第1遺跡 [土師器、軟質土器]	38	令和4年度国際交流展『古墳時代の「台所革命」と東アジア～美味なる“ごはん”の考古学～』に出展のため	R4.8.26 ～ R4.12.27	西都原考古博物館
12	山崎下ノ原第1遺跡 [須恵器]	6	文化財関連業務に使用するため	R4.10.12 ～ R4.10.28	宮崎県文化財課
13	保木島遺跡 [縄文土器]	1	県総合博物館特別展「発掘された日本列島 2022」連携展示のため	R4.11.4 ～ R4.12.14	宮崎県立図書館

14	下那珂遺跡、向原中尾第2遺跡、黒仁田遺跡、板平遺跡、神殿A遺跡、下大五郎遺跡、大年遺跡、塚原遺跡C地区、尾花A遺跡、野門遺跡、五ヶ村遺跡〔石器〕、前原北遺跡、堂地東遺跡、熊野原遺跡A地区、熊野原遺跡C地区、平底第2遺跡、諸麦遺跡、働女木遺跡、町屋敷遺跡、赤坂遺跡〔土器〕、南平第3遺跡、市位遺跡、湯牟田遺跡〔石器・土器〕	150	令和4年度企画展Ⅱ「伝統と変革～宮崎の弥生文化の特質～」	R5.1.5 ～ R5.3.31	西都原考古博物館
15	学習キット〔縄文・弥生〕	100	家庭教育学級にて使用	R5.2.13 ～ R5.2.24	宮崎市立小松台小学校
16	余り田遺跡〔木製品〕、陣ノ内遺跡・右葛ヶ迫遺跡・野首第1遺跡〔土器〕、平田迫遺跡〔土器・石製品〕、竹淵C遺跡・老瀬坂上第3遺跡・下耳切第3遺跡〔須恵器〕、筆無遺跡〔須恵器・石製品〕、宮ノ東遺跡〔土器・須恵器、陶器〕、前原南遺跡〔土器・須恵器〕	43	令和5年度企画展Ⅰ 置県140年記念Ⅰ『令制「日向国」の誕生～古墳から役所・寺院の時代へ～』展示のため	R5.3.28 ～ R5.6.16	西都原考古博物館

【刊行物等掲載（写真等資料提供）】

	資料名	掲載刊行物等	依頼者	申請日
1	穂北城跡〔出土陶磁器資料〕	吉川弘文館「九州の名城を歩く－宮崎・鹿児島編－」に掲載	吉川弘文館	R4.3.22
2	上牧第2遺跡〔2号竪穴住居跡〕、野添遺跡〔3号竪穴住居跡(SAJ3)検出状況〕	令和4年度企画展「縄文にドキッ！食とくらしと縄文人」展示にて使用	都城市教育委員会	R4.4.27
3	市位遺跡・上高遺跡〔石器〕	TV番組「超無敵クラス」(日本テレビ)内の密着ロケVTRにて使用	株式会社ザ・ワークス	R4.5.2
4	大浦遺跡〔SM1完掘状況、1号周溝墓函面〕、百塚原古墳群〔百塚原古墳群の立地、E号墳周溝内壺出土状況、E-1号地下式横穴墓玄室内、展示パネル画像〕、上高遺跡〔41号土坑遺物出土状況〕小迫遺跡〔遺跡の立地、B区近影、SA6全景〕、保木島遺跡〔4号集石遺構検出状況、7号土坑南側土層堆積状況、7号土坑完掘状況、遺物出土状況、縄文早期土器〕、西南戦争関連遺跡〔出土銃弾〕	県総合博物館特別展「発掘された日本列島2022」関係印刷物等への掲載	県総合博物館	R4.5.21
5	保木島遺跡〔打製石鏃〕	市広報「広報都城」7月号	都城市教育委員会	R4.5.30
6	東畦原第3遺跡・尾立第2遺跡ほか〔始良火山噴火直前のナイフ形石器・搔器ほか〕、前ノ田村上第2遺跡〔剥片尖頭器・角錐状石器・ナイフ形石器・石刃ほか〕、塚原遺跡・白ヶ野第2・第3遺跡ほか〔旧石器時代終末から縄文時代草創期にかけての石斧と尖頭器〕、北牛牧第5遺跡〔縄文時代草創期出土尖頭器〕、前ノ田村上第2遺跡〔前ノ田1期出土石器〕、尾立第2遺跡〔IX層B9Gr出土石器製作ブロック出土遺物〕、塩見城跡〔曲輪A群と比良山、曲輪A1出土のつぶて石〕、向原中尾第4遺跡〔向原中尾第4遺跡縄文時代草創期遺物〕、西南戦争関連遺跡〔西南戦争の台場鳥川台場群、台場周辺から発見される銃弾鳥川台場群、西南戦争で放たれた弾丸七熊山台場群〕	令和4年度特別展「飛び道具の技術文化史～旧石器時代から西南戦争まで～」関係印刷物等への掲載	西都原考古博物館	R4.6.18

7	小迫遺跡 [SA45 全景・SB1 全景]	令和4年度巡回企画展「今こそ縄文時代を知ろう!～都城盆地に生きた縄文人～」展示パネルへの掲載	都城市教育委員会	R4.6.24
8	八幡遺跡 [茶入]、塩見城跡 [香炉・青磁小壺]	令和4年度都城島津伝承館特別展「都城喫茶ことはじめ」図録、チラシ、ポスター、展示パネルへの掲載	都城島津邸	R4.7.12
9	百塚原古墳群 [地中レーダー探査の様子]	2022年12月刊行 書籍「よもやま邪馬台国」に掲載	(株)梓書院	R4.9.15
10	右葛ヶ迫遺跡 [土師器 甗]、堂地東遺跡 [土師質鍋]、下耳切第3遺跡 [SA19 土器埋設炉]、西ノ別府遺跡、西下本庄遺跡、木戸平第2遺跡、野首第2遺跡、山崎上ノ原第1遺跡 [土師器甗]、山崎上ノ原第2遺跡 [土師器坏・深鉢片]、平峰遺跡 (第3次) [陶質土器平底瓶]、宮ノ東遺跡 [陶質土器・坏蓋]、平峰遺跡 (第1・2次) [多角形建物]、西下本庄遺跡 [竪穴住居跡一括資料]、山崎上ノ原第1遺跡 [移動式カマド]、前ノ田村上第2遺跡 [カマド]	令和4年度国際交流展「古墳時代の台所革命と東アジア～美味なる“ごはん”の考古学～」の展示図録および展示解説パネルへの掲載	西都原考古博物館	R4.9.8
11	下那珂遺跡、尾花A遺跡 [石包丁]	令和4年度企画展Ⅱ「伝統と変革～宮崎の弥生文化の特質～」ポスター・チラシへの掲載	西都原考古博物館	R4.12.10
12	塚原遺跡Ⅱ G・H・I・J 地点 [調査地点より国富町域を望む (南東より)、調査地点より宮崎市生目古墳群方面を望む (東より)、J1 地点 中環濠 SE4 (左)・外環濠 SE5 (右) 周辺 (西より)、J1c 地点 俯瞰写真 (合成) 上が北、SE4 完掘状況 (西より)、SE4 土層堆積状況 (西より)]	令和4年度西都市歴史民俗資料館企画展の展示パネルへの掲載	西都市教育委員会	R4.12.12
13	池島遺跡 [周溝墓完掘状況、初期高麗青磁皿]	「郡元地区遺跡紹介マップ」に掲載	都城市教育委員会	R5.1.20
14	本城跡 [北西から見た本城跡]	6館合同イベントカレンダーおよび2023年度西都原考古博物館行事予定表に掲載	西都原考古博物館	R5.2.7
15	老瀬坂上第3遺跡 [遺跡遠景2]、下耳切第3遺跡 [牛牧1号墳全景、ST3 全景、ST3 玄室内敷石状況]、宮ノ東遺跡 [S5986 の竈 (S5985)]、下田畑遺跡 [SA2 東カマド (西より)]	令和5年度企画展「令制日向国の誕生～古墳から役所・寺院の時代へ～」の展示解説パネル・バナー等に掲載	西都原考古博物館	R5.3.13
16	白ヶ野第2・第3遺跡 [申請者が撮影した写真・動画 (以下同) 石器類 4点]、大郎遺跡 [石器類 1点]、上ノ原第2遺跡 [紡錘車 1点]、野首第1遺跡 [石器類 17点]、駄小屋遺跡 [石器類 19点]、出羽洞穴 [異形石器 1点]	申請者のブログ、youtube・instagram等SNSに掲載	個人	R5.3.2

(11) 職員派遣

市町村の教育委員会等に埋蔵文化財等の専門的・技術的な指導を行い、諸機関・団体主催講演会等の普及啓発行事にも職員を派遣している。

派遣期日	依頼者	内容	派遣職員
R4.8.24	都城市教育委員会	菓子野地下式横穴墓地中レーダー探査	東 憲章 他
R4.7.25		延岡市史編集委員専門部会 (考古部会)	谷口武範 堀田孝博 藤木 聡
R4.10.21	延岡市教育委員会	延岡市史編集委員専門部会 (考古部会)	谷口武範
R4.12.12		延岡市歴史資料調査会 (考古部会)	藤木 聡
R4.12.15,16		延岡市史編集委員専門部会 (考古部会)	谷口武範

R4.12.22	宮崎県文化財課	都城市高才第3地区地中レーダー探査	東 憲章 他
R4.12.26	都城市教育委員会	都城歴史資料館運営委員会	谷口武範
R5.1.25～27	東北大学東北アジア研究センター	プロジェクト研究ユニット外部評価委員会	東 憲章
R5.3.2～4	延岡市教育委員会	延岡市史編纂事業に係る資料調査（徳島県徳島市）	谷口武範
R5.3.26～28	愛媛大学 アジア古代産業考古学研究センター	遺跡の地中レーダー探査、指導（西予市、松山市）	東 憲章

(12) 埋蔵文化財担当専門職員研修会

埋蔵文化財センターでは、発掘調査技術等の向上をめざし、県及び市町村埋蔵文化財担当専門職員を対象とした研修を実施している。令和4年度は、令和3年度にオンライン講義を中心として行った研修の続編と位置付け、対面講義と実習に重点を置いた。

実施日	場 所	講 師	内 容	参加者数
R4.12.15,16	埋蔵文化財センター分館	独立行政法人奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター センター長 金田明大氏	「埋蔵文化財の保存・活用における三次元計測の導入と実践」	24

(13) 広報出版物

埋蔵文化財センターの「年間行事案内」及び「埋文通信」の発行を行うとともに移動展示会、施設公開等についてもポスターやチラシ、資料等の作成を行った。

発行年・月	広報出版物
R4.6	宮崎県埋蔵文化財センター 年報 第26号 令和3（2021）年度
R5.3	令和5年度 宮崎県埋蔵文化財センター 年間行事案内「EVENT CALENDAR」
R5.3	宮崎県埋蔵文化財センター 通信「ひむか」25号

(14) 研究紀要

職員の研究活動をWEB上で公開している。令和4年度は10本の報告を掲載した。

『宮崎県埋蔵文化財センター研究紀要』第8集

【論文・研究ノート】

黒いトトロ石器和白いトトロ石器～九州東南部から南部におけるトトロ石器の研究ノート～	藤木 聡
弥生時代集落の理解に向けた一視点 - 掘立柱建物集成から見えてくること -	谷口 武範
県指定史跡高城町古墳第2号（都城市高城町）における地中レーダー探査とその評価	東 憲章
Where Have the Ancient Tombs Gone?- 持田古墳群 旧62号墳、A～D号墳の所在について -	和田 理啓
宮崎県埋蔵文化財センター所蔵の石臼からみえてきたもの	谷口 晴子
三次元計測の野外調査での利用例～都井岬見張所・探信所跡を例に～	留野 優兵

【資料集成・紹介】

新富町春日遺跡採集の中世土師器について	本部 裕美
五ヶ瀬町三ヶ所採集の磨製石斧について	呼子 和友

【教育普及】

（普及資料）宮崎の代表的テフラの見分け方 埋蔵文化財の活用促進を目指した実践	松田 清孝 活用促進プロジェクトチーム
---	------------------------

(15) ホームページ・SNS

施設公開、埋蔵文化財講座、成果展、出前講座等の教育普及事業の広報を、ホームページやSNSを通じて行った。また、整理作業員や発掘作業員等の会計年度任用職員の募集や資料の貸出、発掘調査の状況等を発信し、ホームページやSNSの活用を推進した。

3 会議・職員研修

(1) 各種会議等への参加

全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会などの各種会議等に職員を派遣し、職員の資質向上と業務の円滑な推進を図っている。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の減少傾向から対面開催の会議等も増えつつあったが、オンラインで開催されたものも複数あった。

日程	内容	開催地	出席者
R4.6.3	令和4年度宮崎県博物館等協議会第1回研修会	宮崎県宮崎市	谷口晴子
R4.7.27	令和4年度宮崎県地方史研究連絡協議会研修会	宮崎県宮崎市	谷口武範
R4.8.9	令和4年度埋蔵文化財保護対策等九州地区協議会	オンライン	和田理啓
R4.8.31～9.1	令和4年度第1回埋蔵文化財担当職員等講習会	オンライン	谷口武範・東憲章・和田理啓・堀田孝博
R4.10.26	令和4年度宮崎県博物館等協議会第2回研修会	宮崎県延岡市	谷口晴子
R4.11.9～11	令和4年度文化財行政講座	オンライン	平井祥蔵
R4.12.1～2	令和4年度全国公立埋蔵文化財連絡協議会中四国九州ブロック会議	島根県松江市 出雲市	東 憲章
R5.2.8～10	令和4年度第2回埋蔵文化財担当職員等講習会	長崎県佐世保市 (オンライン)	藤木 聡・留野優兵 平井祥蔵・佐土瀬英嗣
R5.2.27	令和4年度埋蔵文化財保護対策等九州地区協議会	オンライン	和田理啓・平井祥蔵

(2) 共同研究への参加

所外の研究者や機関等が主催する共同研究へ職員が参加するものである。

日程	内容	参加者
令和4年度は該当者なし	—	—

(3) 労働安全衛生関係の講習会等への参加

発掘調査現場及びセンター内での安全衛生の増進を図るため、以下の各講習会へ参加している。

日程	内容	参加者
R4.4.19～20	安全衛生推進者養成講習	小山輝晃・守部丘大・川嶋信平・留野優兵・上野哲矢・佐土瀬英嗣
R4.4.26	足場の組立等の特別教育	守部丘大・川嶋信平・留野優兵
R4.5.23	救急救命講座（心肺蘇生法・AED操作法・応急手当）	片伯部真一・米良ふたば・河野由芽・江藤建輔・小山輝晃・平井祥蔵・伊東浩二・石塚啓祐・守部丘大・川嶋信平・留野優兵・上野哲矢・田中敏雄・佐土瀬英嗣・本部裕美
R4.6.28	熱中症予防指導員・管理者研修	小山輝晃・守部丘大・川嶋信平・留野優兵・上野哲矢

IV 宮崎県埋蔵文化財センター管理規則

平成 8 年 3 月 29 日
教育委員会規則第 5 号

改正

平成 12 年 1 月 20 日教育委員会規則第 1 号
平成 12 年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号
平成 12 年 12 月 18 日教育委員会規則第 21 号
平成 18 年 3 月 30 日教育委員会規則第 9 号
平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 3 号
平成 20 年 3 月 31 日教育委員会規則第 6 号
平成 26 年 3 月 27 日教育委員会規則第 2 号
令和 2 年 3 月 30 日教育委員会規則第 9 号
令和 5 年 3 月 30 日教育委員会規則第 6 号

宮崎県埋蔵文化財センター管理規則をここに公布する。

宮崎県埋蔵文化財センター管理規則

(趣旨)

第 1 条 この規則は、別に定めるもののほか、宮崎県埋蔵文化財センター及び宮崎県埋蔵文化財センター分館（以下「埋蔵文化財センター」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(事業)

第 2 条 埋蔵文化財センターは、次に掲げる事業を行う。

- (1) 埋蔵文化財の調査研究に関すること。
- (2) 出土品その他の資料の保存及び活用に関すること。
- (3) 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関すること。
- (4) 埋蔵文化財関係者の専門的、技術的な研修及び指導に関すること。
- (5) 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発に関すること。
- (6) その他埋蔵文化財保護に必要な事業に関すること。

(組織)

第 3 条 埋蔵文化財センターに、次の課を置く。

総務課

調査課

普及資料課

(分掌事務)

第 4 条 前条に規定する各課の分掌事務は、次のとおりとする。

総務課

- (1) 職員の人事、給与及び服務に関すること。
- (2) 予算の執行及び決算に関すること。
- (3) 文書の収受、発送及び保存に関すること。

- (4) 公印の管守に関すること。
- (5) 施設及び設備の管理に関すること。
- (6) その他の他の課の所管に属さない事項に関すること。

調査課

- (1) 国、県関係事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
- (2) 東九州自動車道建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
- (3) 重要遺跡の発掘調査及び保護に関すること。
- (4) 前3号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関すること。
- (5) 第1号から第3号までの発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関すること。

普及資料課

- (1) 出土品の保存処理、修復、保存管理及び活用に関すること。
- (2) 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関すること。
- (3) 出土品その他の資料及び埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料（以下「資料等」という。）の貸出しに関すること。
- (4) 埋蔵文化財関係者に対する専門的、技術的な研修及び指導に関すること。

（職及び職務）

第5条 埋蔵文化財センターに、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職務
所長	所務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副所長 (2人)	所長を補佐し、所長に事故があるとき、又は所長が欠けたときは、その職務を代行する。
課長	上司の命を受けて、課に属する事務を処理する。
専門主事	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする事務に従事する。
主任主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主事	上司の命を受けて、事務に従事する。

2 前項に規定する副所長の職務の担当区分は、1人を統括とし、他を業務担当とする。

3 第1項の規定により副所長が所長の職務を代行する順序は、次のとおりとする。

第1順位 統括の副所長

第2順位 業務担当の副所長

4 第1項に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに、必要に応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職務
副参事	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
主幹	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
専門主幹	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
副主幹	上司の命を受けて、その相当高度の専門的業務に従事し、又は埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
主査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。

（その他の職）

第6条 前条に規定する職のほか、必要に応じ、会計年度任用職員を置く。

2 会計年度任用職員は、上司の命を受けて、事務又は技術に従事する。

（開館時間等）

第7条 埋蔵文化財センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

2 埋蔵文化財センターの入館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

（休館日）

第8条 埋蔵文化財センターの休館日は、次のとおりとする。

区 分	休 館 日
宮崎県埋蔵文化財センター	1 土曜日及び日曜日 2 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。) 3 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで(休日を除く。) 4 特別整理期間(あらかじめ所長が定めて公示する期間をいう。以下同じ。)
宮崎県埋蔵文化財センター 分館	1 月曜日(休日に当たるときを除く。) 2 休日の翌日(土曜日、日曜日又は休日に当たるときを除く。) 3 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで 4 特別整理期間

2 所長は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に同項に定める休館日に開館し、又は同項に定める休館日以外の日に休館することができる。

(入館の制限等)

第9条 所長は、埋蔵文化財センターを利用しようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) 施設、設備、備品等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
- (3) 所長が指定する場所以外において喫煙又は飲食をしたとき。
- (4) 条例若しくは規則又は所長の指示に従わないとき。
- (5) 前各号に掲げる場合のほか、埋蔵文化財センターの管理運営上支障があると認められるとき。

(資料等の館内利用)

第10条 館内において資料等を利用しようとする者は、資料等館内利用承認申請書(別記様式第1号)を所長に提出して、所長の承認を受けなければならない。

(資料等の館外貸出し)

第11条 次に掲げるものは、資料等の館外貸出しを受けることができる。

- (1) 国立の博物館、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館及び同法第31条第1項の規定により文部科学大臣、都道府県教育委員会又は指定都市の教育委員会が指定した博物館に相当する施設
- (2) 社会教育法(昭和24年法律第207号)第21条に規定する公民館
- (3) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校
- (4) 国又は地方公共団体の設置する教育又は文化に関する調査研究機関
- (5) 市町村立の歴史民俗資料館等で宮崎県教育委員会教育長(以下「教育長」という。)が定めるもの
- (6) その他教育長が適当と認めるもの

2 資料等の館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、所長が特に必要があると認めるときは、これを延長し、又は貸出しの期間中であっても、当該資料等の返還を求めることができる。

3 資料等の館外貸出しを受けようとする者は、資料等館外貸出承認申請書(別記様式第2号)を所長に提出し、所長の承認を受けなければならない。

4 所長は、出土品その他の資料について前項の承認をしようとするときは、次の事項を確認しなければならない。

- (1) 貸出しを受ける目的が当該出土品その他の資料の保存及び活用にとって適切であること。
- (2) 当該出土品その他の資料の保管、展示等を適切に行うための施設及び設備が整備されていること。
- (3) 貸出しの期間中当該出土品その他の資料が適切な知識、技能を持つ者に取り扱われること。

(弁償)

第12条 入館者、館内利用者又は資料等の館外貸出しを受けた者は、資料等、設備又は備品を

亡失し、破損し、又は汚損したときは、所長の指示に従い、その修理又は損害の賠償をしなければならない。

(委任)

第13条 この規則に定めるもののほか、埋蔵文化財センターの管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成8年4月1日から施行する。

(宮崎県総合博物館管理運営規則の一部改正)

2 宮崎県総合博物館管理運営規則(昭和46年宮崎県教育委員会規則第4号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則(平成12年1月20日教育委員会規則第1号)

この規則は、平成12年1月20日から施行する。

附 則(平成12年3月31日教育委員会規則第8号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成12年12月18日教育委員会規則第21号抄)

(施行期日)

1 この規則は、平成13年1月6日から施行する。

附 則(平成18年3月30日教育委員会規則第9号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成19年3月30日教育委員会規則第3号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成20年3月31日教育委員会規則第6号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成26年3月27日教育委員会規則第2号)

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(令和2年3月30日教育委員会規則第9号)

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則(令和5年3月30日教育委員会規則第6号)

(施行期日)

1 この規則は、令和5年4月1日から施行する。

(用紙に関する経過措置)

2 この規則の施行の際現に存する第1条の規定による改正前の博物館の登録に関する規則及び第4条の規定による改正前の宮崎県埋蔵文化財センター管理規則の規定に定める様式による用紙は、当分の間、所要の事項を適宜補正して使用することができる。

別記

様式第1号

(第10条関係)

様式第2号

(第11条関係)

別記

様式第1号(第10条関係)

資料等館内利用承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所
申請者 氏 名
電話番号

〔法人にあつては主たる事務所の所在地、
名称及び電話番号並びに代表者の氏名〕

資料等の館内利用をしたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第10条の規定により、
次のとおり申請します。

館内利用の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考
利用希望日時			
利用の方法			
撮影の有無			
備 考			

別記

様式第 2 号(第 11 条関係)

資料等館外貸出承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所
申請者 氏 名
電話番号

〔法人にあつては主たる事務所の所在地、
名称及び電話番号並びに代表者の氏名〕

資料等の館外貸出を受けたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第 11 条第 3 項の規定により、次のとおり申請します。

館外貸出の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考
館外貸出期間	年 月 日 から 年 月 日まで		

案内図

宮崎県埋蔵文化財センター

所在地 〒880-0212

宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 4019

TEL 0985-36-1171(代表・総務課)

0985-36-1172(調査課)

FAX 0985-72-0660

ホームページ

<https://www.miyazaki-archive.jp/maibun/>

E-mail maizobunkazai-c@pref.miyazaki.lg.jp

アクセス

公共機関 : JR 佐土原駅から車で 10 分

宮崎市街地から高鍋町方面宮崎交通バス

御殿下バス停 から徒歩で 8 分



宮崎県埋蔵文化財センター分館

所在地 〒880-0053

宮崎県宮崎市神宮 2 丁目 4-4

TEL 0985-21-1600(普及資料課)

FAX 0985-26-2634

観覧時間 午前 9 時～午後 5 時

(入館は午後 4 時 30 分まで)

休館日 年末年始(12 月 28 日～1 月 4 日)

特別整理期間

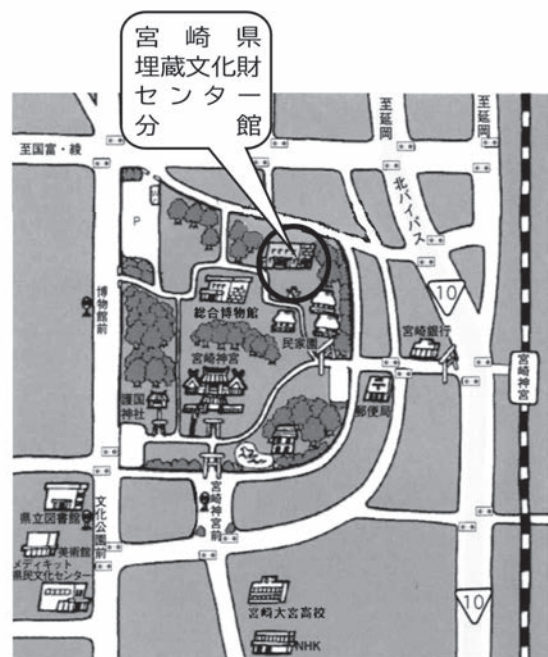
入館料 無料

E-mail maibun-fukyu@pref.miyazaki.lg.jp

アクセス

公共機関 : 宮交バス「博物館前」徒歩 4 分

JR「宮崎神宮」徒歩 9 分





交差する歴史と神話
みやざき発掘100年

宮崎県埋蔵文化財センター

〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂 4019 番地

TEL 0985-36-1171・1172 FAX 0985-72-0660

E-mail maizobunkazai-c@pref.miyazaki.lg.jp